

下ヶ名は大勢免筆吹振と稱する田ありといふ人あり。往古城端大明神へ對きしれ一  
地より事何の疑りあるん言形村の在所に  
往古村といふあり。鯉川又本中内村といふ五  
姓古けきも官人の居城ありて城外  
多なる神を城端と稱し又城地の内を城  
の内と稱し一を後世城を本よ改め  
よ。日本記を見らに城柵の二字何れもキ  
と訓を本中内村は某田村。蠅塚村といふ二  
名あり。案するに二名ハ本名ありて本所

内といふ城端は對し一は惣号なり。一  
は村の西ハ新田目村ありて之取本中内ホ  
の惣号なり。内公田外公田振といふ小名有  
三代実録曰五十七代 陽盛天皇元慶  
三年二月城端大明神校設五位上云々云  
人今二名と稱するハ及親お尚うさるが  
ま平田ハ二名の下に記す

一 新田目破

出羽守爲高所の館記なり。元禄孫今年又  
三郡として波村はあり。吹浦村の社記に曰